

目標達成計画

事業所名 グループホーム奏

作成日 : 平成 28年 9月 1日

評価結果

市町提出日 : 平成 28年 10月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	32	契約時の重要事項説明書に終末期対応や入院時の対応等明確な形での説明文がなく、家族や本人に対して十分な理解が得られていない可能性がある。	契約時の重要事項説明書に入所時の終末期並びに入退院時の対応等をわかりやすく記し、説明ができるようにする。	重要事項説明書に左記に記す十分な内容を加え、各事業所内の職員に周知し、今後の契約時並びに現在入所中のご家族様にも理解を得てもらう。	0 か月
2	35	年2回の避難訓練をするも、事業所内での訓練を重視したものであり、近隣・地域の方々の協力をして頂けるような理解を得られるまでの訓練ではなかった。実際非常事態の場合に備え地域の方に協力して頂けるような関係を築いていく。	運営推進会議や地域の交流行事などに参加するときなどを利用し、当事業所の状況（入居人数や年齢など）詳細を伝え、災害時の協力体制を築けるように呼び掛ける。	運営推進会議の討議要項に、災害時の取組や避難状況等を盛り込み参加していただいた近隣・地域の方や自治会と話す機会を設けて、ご理解ご協力のできる体制を築く。	3 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。